

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年6月21日

派遣決定番号 K081

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秋田横連携IoT推進ラボ協議会	代表者名	岩根えり子
担当者部署	横手市役所	連絡先電話番号	0182-35-2164
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	013-8601 秋田県横手市中央町8番2号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	横手市役所	連絡先部署	総務企画部
担当者氏名		連絡先電話番号	0182-35-2164
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	<ul style="list-style-type: none">協議会設立から現在に至るまで行ってきた事業や研修・セミナーについてのヒアリングを丁寧に行っていただき、事業を進めていく上で、参考となる事例について提案をしていただいた。今回の打合せではインプットにかける時間を多く確保していただいたため、当協議会ではどのような取組みを今後していきたいか方向性を固めることができた。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none">地域の存続を考えた情報化への具体的なアドバイスをいただきたい。地域⇄地域連携や学生との協業など既存の枠組みにとらわれない展開の仕方をアドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年6月18日	15時00分	17時45分		165
3-2. 派遣場所	会場名	横手市役所	最寄駅	横手駅	
	所在地	秋田県横手市中央町8-2			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	秋田横連携IoTラボ協議会員、市職員	5人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	IoTを利用することで、膨大なデータを解析する技術が普及し、新たな市場が形成され始めている。しかしながら当協議会においては、具体的な事業について、それぞれの会員が案を持っているがそれをアウトプットすることができていない状況にある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	IoT、地域力、シェアリングエコノミーに着目し、地域課題の解決に繋がるアイデアの発掘や、ソサエティ5.0時代に地域を牽引できる民間サービスへの投資を促進させること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">新しい事業をゼロからスタートさせるのではなく、これまで行ってきた事業に色付けをする方法が良い。高校生や大学生を巻き込んだ事業を展開してみてもどうか。地元の学生に限定せず、全国の学生を視野に入れることが必要。すでに具体的な事業を進めている他市町村と連携をする方法も有効である。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">事前打合せ段階であるため、具体的な改善又は解決には達していないが、スマートフォンアプリやドローンを利用した事業、H30年度に行った「みちびきを利用した実証実験」の結果を活かした新しい住民サービス型の事業など、これまで検討段階で止まっていた事業についても進展が期待できるようなアドバイスが多くあった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none">協議会内での情報共有がほとんど行われていないため、Facebookのグループ機能を利用し、気軽に情報共有がなされる環境を構築することが必要。(8月19日の講演会までに期間限定でも構わないので、作成しておく)協議会に参加している自治体と企業との間で、今後同じような事業実施を検討していけないか情報の擦り合わせをしておくことが必要。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・実施なし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none">当協議会に参加している自治体と企業が同じ問題意識を持ち、ソサエティ5.0時代を生き抜くための克服課題を明確にする。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

